

REACH NEW HEIGHTS IN GPC EFFICIENCY

Agilent GPC カラムおよび消耗品



ポリマー分析に適した、スピードと幅広い溶媒互換性を実現

アジレントは 35 年以上にわたり、十分に実証された確かな GPC イノベーションの促進において、業界を先導してきました。ポリマー分析において直面するさまざまな課題の克服をサポートするために、アジレントは次のソリューションをご用意しています。

- Pluspore、Rapide、Mixed-E、PLgel、および新しい InfinityLab PL Multisolvent GPC カラムをはじめとする、高品質で信頼性の高い GPC カラムの広範な製品ポートフォリオ

- InfinityLab GPC ファミリのきわめて効果的な Agilent GPC カラムと標準試料
- 使いやすい InfinityLab EasiVials や EasiCal キットなど、キャリブレーションのための幅広い標準試料
- 日々の GPC 操作を容易にし、安全な溶媒処理を促進する、InfinityLab アンチドレインフィッティング、セーフティキャップ、人間工学に基づく溶媒ボトルなどの画期的な消耗品

短期間で投資を回収

人件費と溶媒コストを低減

分析時間が 25 % 短縮 = 1 サンプルあたりのコストが 30 % 低下



他社製 GPC カラム



Agilent InfinityLab GPC カラム

サンプルキャパシティの向上

従来の機器やオペレータキャパシティと比較し、スループットが 33 % 向上



他社製 GPC カラム



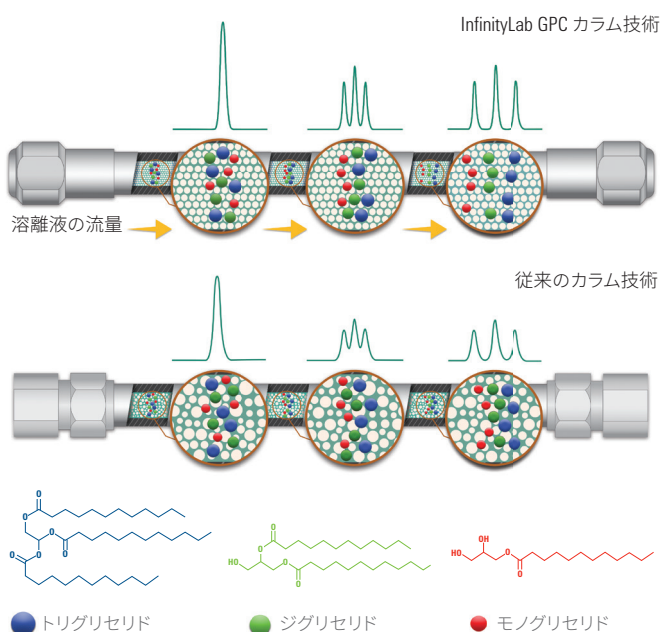
Agilent InfinityLab GPC カラム

GPC の利用可能性と効率を高める画期的な技術

数十年に及ぶ GPC 経験に裏打ちされた Agilent GPC カラムは、より高い温度、より強い溶媒、度重なる溶媒変化に対する耐久性を備えています。さらに、新しい InfinityLab PL Multisolvent カラムは、幅広いサンプルや溶媒をかつてないほど柔軟に処理できます。

ポリマー被覆シリカ: 画期的な GPC カラム

- シリカの剛直な主鎖が幅広い溶媒および溶媒変化に対応
- 小さな粒子サイズにより速度と分離能を促進
- ポリマーコーティングが、二次的反応による分子量の測定エラーを解消



アジレントの充填剤粒子は高度に構造化されており、他社製カラムよりもシャープなピークを示します。

新しい InfinityLab PL Multisolvent カラムは、追加コスト不要で、幅広いサンプルと溶媒に柔軟に対応

InfinityLab PL Multisolvent カラムは多くの GPC/SEC メソッドに対する新しい選択肢となります。200 bar 以上の背圧に対する耐久性を備え、THF、クロロホルム、水と適合します。

InfinityLab PL Multisolvent カラムの詳細情報

仕様	分子量範囲	部品番号
PL Multisolvent 20 4,6 x 50 mm	最大 30,000	PL1515-1321
PL Multisolvent 20 4,6 x 150 mm		PL1515-3321
PL Multisolvent 20 7,8 x 50 mm		PL1015-1321
PL Multisolvent 20 7,8 x 150 mm		PL1015-3321
PL Multisolvent 30 4,6 x 50 mm	3,000 ~ 100,000	PL1515-1323
PL Multisolvent 30 4,6 x 150 mm		PL1515-3323
PL Multisolvent 30 7,8 x 50 mm		PL1015-1323
PL Multisolvent 30 7,8 x 150 mm		PL1015-3323

アジレントのポリマー分析ソリューションでワークフローの生産性を向上させましょう。有機系および水系 GPC アプリケーション用のアジレントのカラムに関する詳細は、ホームページをご覧ください。

ホームページ

www.agilent.com/chem/jp

カスタムコンタクトセンタ

0120-477-111

email_japan@agilent.com

本製品は一般的な実験用途での使用を想定しており、医薬品医療機器等法に基づく登録を行っておりません。本文書に記載の情報、説明、製品仕様等は予告なしに変更されることがあります。

アジレント・テクノロジー株式会社

© Agilent Technologies, Inc. 2017-2019

Printed in Japan, April 1, 2019

5991-8181JAJP